

(振興局調整費)

部 名	部長名	担当課	担当班名	担当者名	電話番号	事業名、事業期間	事業目的・必要性	事業費 (円)	委託・ 負担金・ 直営	事業実施状況	事業実施主 体	事 業 対 象 者	事業決定月日 (部局長会議等) 及び評価確定日	事業の効果	今後の課題及び 取組方向
農林部	高橋信明	農業振興 普及課	果樹産地 支援班	中尾 学	0186-25- 3231	電害を受けた果樹・花 きに対する緊急防除支 援	5月30日の降雹により 大きな被害を受けた果 樹及び花き農家に対 し、生産意欲を維持し、 今後懸念される病害防 止と再生力を確保し て、被害の拡大を抑え るための技術指導と併 せ、薬剤防除の徹底を 図る。	510,700	直営	【果樹】	県	果樹・花 き生産者	平成28年6月9日	【果樹】 ・雹害直後に、モモ、リ ンゴの講習会を行い、 着果管理と病害防除に ついて指導を行い、病 気の蔓延等の二次的 被害を防止した。 ・しかし、激しい降雹の あった地域では果実の 損傷が著しく、生産量 が大幅に減ってしまった。 ・被害園地の病害防除 や樹体管理等について 継続的に支援し、生産 力の再生と農家意欲の 維持に努めている。	【果樹】 ・モモは枝にも損傷がある ため、着果による枝折れ の懸念があり、剪定や開 花後の着果管理でも引き 続き指導が必要である。 ・また、病害虫は前年の影 響を受けるため、引き続き 適正防除について指導を 行っていく必要がある。
			産地・普 及班	高橋一子	0186-23- 3683					平成28年6月13日～ 平成28年6月28日			【花き】	平成29年5月17日	【花き】 ・早期に防除を実施す ることができ、病気の発 生による被害の拡大を 防ぐことができた。 ・職員が頻繁にほ場に 足を運んだことや農薬 の現物支給を行ったこ とで、被害を受けた農 家の生産意欲が維持さ れた。 ・被害農家からは、「被 害を免れた部分をあき らめずに管理し、売り上 げに繋げることができ た」との声が聞かれた。